

海軍公報

第二千八百十四號

海軍大臣官房

昭和九年六月一日(金)

○通牒

官房第二五三六號ノ三

昭和九年六月一日

海軍省 副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般狀況實視ノ爲侍從武官小林謙五ヲ馬公要港部へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

追テ同官ハ六月中旬東京發七月中旬歸京ノ豫定

官房第二〇五四號ノ三

昭和九年六月一日

海軍省 副官

關係各廳御中

臨時思想講習期間變更ノ件通知

官房第二〇五四號ノ二ニ依ル講習期間六月一日ヨリ七日間ヲ八日間ニ變更相成候

○辭令

○昭和九年六月一日

海軍豫備一等兵曹

三木	宗太郎	貴田	一善	南條	數雄	上岡	憲一	田坂	昂	松永	實隆	肥後	一水	竹田	國光	樺山	武雄	中村	繁志	川村	正俊	伊知地	種二	山下	武夫	丸林	千里
----	-----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----

海軍公報 第二千八百十四號 昭和九年六月一日

五三七

2109 0015

同 同

池田 忠男 太田 民生 高橋 優三 皆元 慶三 重松 實一 谷 唯一 金田 直次郎 杉浦 春若 島田 健太郎 山本 哲平 三栗谷 武市 須澤 公佳 岡田 信義 梶原 玉夫 松浦 倉之進 石井 里利 藤井 義太郎 理上 一男 河口 淺雄 山口 伊三郎 原田 忠市

(各通)

同 同

柳瀬 治診 松村 秀男 大賀 清春 宮本 正一郎 大西 靜一 宗岡 謹吾 新谷 淺一 松本 寅一 今川 寅三郎 竹尾 理雄 高山 滿洲郎 岡田 繁 木村 賢次郎 安達 健作 北島 儀平 中野 儀市 吉野 儀市 永谷 實 蒔苗 定吉 小笠原 性善 濱中 政雄

同 同

岡 綿 古 岩 間 眞 入 本 倉 眞 喜 松 川 眞 雄 太 田 秀 三 郎 乃 木 勝 雄 中 川 秀 恭 鹿 志 和 長 之 進 奥 野 十 太 郎 尾 山 一 本 武 津 侃 二 飛 田 守 猪 野 孝 郎 加 藤 正 秋 小 田 上 清 治 飯 田 義 勇 田 場 一 二 三 石 堂 力 横 山 甚 四 郎 中 村 松 吉 小 牧 宗 平

同 同

中 村 仁 酒 田 久 明 屋 嶋 孚 作 野 口 平 吾 杉 原 初 村 上 乃 信 大 久 保 駒 一 樋 口 三 郎 土 井 經 夫 村 上 光 重 織 田 金 吾 常 房 與 吉 志 小 倉 弘 一 濱 浪 信 一 田 中 精 一 四 元 三 喜 男 大 高 彌 吉 矢 々 部 忠 次 桂 井 佳 吉 貴 島 清 川 崎 直 泰

同 同

高松 祐一 末石 利男 上野 治夫 山口 正美 大嶋 健 岡田 梅路 岡田 秋治 熊谷 健治 武田 秀雄 山本 毅 多田 清治 橋爪 式雄 新田 義治 西村 巳次 井手 勇 荒牧 縣 岡 貞藏 矢田部 松壽 笹井 尙夫 成瀬 留吉 古谷 寛

同 任海軍豫備機關兵曹長

(各通)

任海軍書記

給六級俸

(各通)

任海軍書記

給月俸七拾圓

(各通)

任海軍書記

給月俸六拾圓

(各通)

勳八等

中谷 研治

川口 儀市 石井 健也 世戸 貫一

萩原 秀次郎 柴田 守之進

小泉 健治 川原 光太郎 佐藤 孝一

小川 榮夫 長橋 新一 和田 良助 平賀 定美 吉村 秀夫

任海軍書記

給八級俸

任海軍技手

給五級俸

(各通)

任海軍技手

給六級俸

陸軍歩兵少尉正八位
陸軍砲兵少尉正八位

(各通)

任海軍技手

給月俸七拾圓

高野 庄平
前田 恵

早崎 貫一

市川 倫作
佐藤 泉三
手中 進

關口 武夫
石渡 仙松
登木 幹夫

鈴木 勝義

日比野 治

小山 隆

中岡 増美

日暮 時郎

(各通)

陸軍歩兵軍曹

陸軍航空兵軍曹

林 廣司

下里 一男

矢吹 竹夫

福田 正男

糸永 夏生

大石 健一

木村 武夫

片山 佐一

保坂 梯吉

中村 忠夫

稻手 重雄

清水 達英

橋本 喜三郎

石川 博

大和 正夫

長谷川 昇

井上 喜之助

米倉 冬彦

長野 三郎

坂井 一貴

四木 堯次

2114

6620

任海軍技手 給七級俸		高須 孔武
海軍軍事普及部委員長ヲ命ス		海軍少將 坂野 常善
(各通)		海軍書記 川口 儀市
海軍技術研究所附ヲ命ス		海軍技手 佐藤 泉三
(各通)		海軍書記 石井 健也
同		和田 良助
(各通)		海軍技手 手中 進
同		日比野 治
同		林 廣司
同		清水 達英
同		石田 博
海軍火藥廠附ヲ命ス		
(各通)		海軍書記 世戸 貫一
同		柴田 守之進
海軍要港部勤務ヲ命ス		海軍技手 早崎 貫一
(各通)		海軍書記 萩原 秀次郎
同		海軍技手 市川 倫作
海軍技術研究所勤務ヲ命ス		同 橋本 喜三郎
(各通)		海軍書記 小泉 健治
同		川原 光太郎
海軍艦政本部勤務兼造船兵監督書記ヲ命ス		同 佐藤 孝一
(各通)		同 長橋 新一
同		吉村 秀夫
同		高野 庄平
(各通)		同 前田 恵
海軍技手		石渡 仙松
同		中岡 増美
同		下里 一男
海軍艦政本部勤務ヲ命ス		
海軍航空本部附ヲ命ス		海軍書記 小川 榮夫
海軍艦政本部附ヲ命ス		同 平賀 定美
(各通)		海軍技手 登 幹夫
同		小山 隆
海軍艦政本部勤務兼造船兵監督助手ヲ命ス		

海軍公報 第二千八百八十四號 昭和九年六月一日

五四三

2115 0621

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ命ス	久保 一幸
舞鶴要港部附同	
(各通)	
同	鈴木 勝義
同	日暮 時郎
海軍航空本部勤務ヲ命ス	
海軍大佐	北 正一郎
水路部ニ於ケル水路告示ニ關スル事務ヲ囑託ス	
航空ニ關スル調査囑託	勝 炯
自今報酬ヲ支給セス(以上 六カ 海軍省)	清

○軍艦進水
三菱重工業株式會社長崎造船所ニ於テ建造ノ軍艦三隈
去月三十一日午前九時十五分進水セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月一日午前十時調

【横須賀】

日進、山城、八雲、北上、大鯨、木曾、伊勢、比叡、金剛、五十鈴、赤城、

伊海、摩耶、高雄、愛宕、神威、

松風、春風、旗風、朝風、沖風、矢風、

澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣、

伊二三、伊二四、伊三、伊一、伊二、

伊五、伊四、

掃二、掃四、

富士、尻矢、鳴戸、

【長浦】島風、汐風、夕風、瀨風、潮、曙、朧、

天霧、朝霧、夕霧、

呂五五、呂五四、呂五六、

掃六、掃一、掃三、掃五、

【浦賀】(初霜)

【館山】

【四日市】

【大湊】

呂五八、呂五七、呂五九、

吳、長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

加古、神通、勝力、韓崎、白鷹、扶桑、

日向、長鯨、龍驤、古鷹、那珂、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、

刈萱、朝顔、子目、初春、吳竹、若竹、

早苗、東雲、磯波、吹雪、深雪、初雪、

白雪、白雲、叢雲、薄雲、

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、

呂六二、伊二一、伊二二、伊二五、

伊五一、伊五六、伊五七、伊五八、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四、

石廊、攝津、間宮、

(伊六八)、(最上)、

【大阪】(初雁)、(掃一五)、

【神戸】伊五三、伊五四、伊五五、

(伊六九)、(伊六)、

【玉】(掃一六)、

【安下庄】敷波、浦波、綾波、

【舞鶴】吾妻、多摩、

呂二六、葵、菊、

呂二六、

【佐世保】(夕暮)、

呂千鳥、真鶴、

夕張、加賀、鬼怒、羽黒、常磐、霧島、

長良、名取、川内、青葉、衣笠、

山良、迅鯨、

梨、竹、樺、柳、桃、檜、樫、草月、

【燕湖】保津	【南】京 出雲、伏見 【上】海 安宅、二見	【青島】天龍	【鎮海】蓬、蓼、蓮	【高雄】青島	【馬公】嵯峨、球磨 【太刀風】羽風、帆風、秋風	【長崎】野島 【寺島水道】呂六三、呂六四、呂六八	【博多】朝日 【若葉】敷島、早鞆、知床、鶴見	友鶴 伊六七、伊六五、伊六六 呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三一、呂六六、呂六七、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六	如月、彌生、峯風 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六	疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風	文月、疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風
【燕江】浦風	【南】京 出雲、伏見 【上】海 安宅、二見	【青島】天龍	【鎮海】蓬、蓼、蓮	【高雄】青島	【馬公】嵯峨、球磨 【太刀風】羽風、帆風、秋風	【長崎】野島 【寺島水道】呂六三、呂六四、呂六八	【博多】朝日 【若葉】敷島、早鞆、知床、鶴見	友鶴 伊六七、伊六五、伊六六 呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三一、呂六六、呂六七、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六	如月、彌生、峯風 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六	疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風	文月、疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風
【燕江】浦風	【南】京 出雲、伏見 【上】海 安宅、二見	【青島】天龍	【鎮海】蓬、蓼、蓮	【高雄】青島	【馬公】嵯峨、球磨 【太刀風】羽風、帆風、秋風	【長崎】野島 【寺島水道】呂六三、呂六四、呂六八	【博多】朝日 【若葉】敷島、早鞆、知床、鶴見	友鶴 伊六七、伊六五、伊六六 呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三一、呂六六、呂六七、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六	如月、彌生、峯風 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六五、伊六六	疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風	文月、疾風、追風、朝風、夕風、如月、彌生、峯風

【航海中】 對馬 (五月二十八日漢口發—上海へ) 比良 (五月二十九日上海發—漢口へ) 洲崎 (五月二十九日「ホノルル」發—桑港へ) 春日 (五月三十日橫須賀發—德山へ) 隱戸 (五月三十日旅順發—青島へ) 襟裳 (五月三十日德山發—橫須賀へ) 磐手、淺間 (五月三十一日「アレキサンドリヤ」發—ジブチへ) 足柄 (五月三十一日佐世保發—門司へ) 駒橋 (五月三十一日橫須賀發—作業地へ) 大井 (五月三十一日大社發—吳へ) 膠州 (五月三十一日硫黃島發—父島へ) 龍田 (一日長崎發—橋灣へ) 鳳翔 (一日橫須賀發—東京灣へ) 水無月、長月 (一日寺島水道發—橋灣へ) 室戸 (一日吳發—佐世保へ)	【漢口】宇治、熱海、隅田 【長沙】鳥羽 【宜昌】堅田 【重慶】栗、柿、檜、榎 【廣東】勢多 【羅府】佐多 【作業地】嚴島、八重山、淀、能登呂 【神風、波風、野風、沼風】大泊
---	---

0324

海軍公報

第二千八百八十五號

昭和九年六月二日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房第二五五〇號ノ二

昭和九年六月一日

海軍大臣

空廠第二一號ノ一三海軍航空廠處務規程中一部變更試
行ノ件認許ス

(參照)

空廠第二一號ノ一三

昭和九年五月十九日

海軍航空廠長

海軍大臣殿

海軍航空廠處務規程中一部變更

試行ノ件上申

左記理由ニ依リ海軍航空廠處務規程中航空兵器及其ノ
屬具ノ材料實驗研究等ニ關スル分擔ヲ別紙ノ通變更試

行致度候條御認許相成度

追テ處務規程ノ改正ニ關シテハ試行ノ結果ニ依リ改
メテ意見提出致スベク候

記

海軍航空廠ニ於ケル航空兵器及其屬具ノ材料實驗研究
等ハ各部ニ於テ行フベク規定サレアルモ實施ノ結果各
部研究施設機械器具並實驗研究事項重複ノ弊ヲ生ジ限
ラレタル人員ト經費トヲ以テ研究ノ能率ヲ擧グルニハ
研究機關ヲ關係深キ部ニ分擔セシムルヲ適當ト認ムル
ニ依ル

(別紙)

航空兵器及其ノ屬具ノ材料ヲ金屬及非金屬材料ニ區分
シ金屬材料ノ實驗研究調査、審査並試驗ノ主務ヲ發動
機部、非金屬材料ノ實驗研究調査、審査並試驗ノ主務
ヲ飛行機部トス

○辭令

海軍公報 第二千八百八十五號 昭和九年六月二日

五四七

2119 6625

海軍經理學校ニ於ケル會計學並ニ財政學教授囑託ヲ
解ク(十八日 海軍省)

井畔 武明

海軍兵學校ニ於ケル教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限委任官待遇ト
ス

海軍航空本部ニ於ケル航空諸施設ニ關スル業務

囑託

松原 雅太

自今報酬ヲ支給セス(以上 六日同)

○ 雜 款

○郵便物閉塞交換開始並ニ廢止昭和九年六月二日

軍艦嵯峨ト門司郵便局間ニ軍艦郵便ノ取扱開始セラレ
タリ尙驅逐艦並ト同局間ノ軍艦郵便ハ今般廢止セラレ
タリ

(昭和九年六月二日)
(海軍省 副官)

○ 旗艦變更

横須賀警備隊司令官ハ昨日比叙ヨリ木曾ニ、第十
一戰隊司令官ハ本日安宅ヨリ對馬ニ旗艦ヲ執モ變更
セリ

○ 軍艦北上行動豫定

地名	着	發
横須賀	六月四日	六月四日
横須賀	六月四日	六月四日

○ 英國軍艦サツフオーク來航豫定

地名	期日	記 事
横濱	六月三日	東郷元帥葬儀參列ノ爲
(備考)	同艦ニハ英國支那艦隊司令長官ドレイヤー	
	大將座乗	

○ 郵便物發送先

軍艦足柄宛
六月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 大 門 連
同十七日迄ニ 同 佐 世 保
其ノ後ハ

○ 出發

獨 國	海軍技師	松山 武秀
出張		
	六月七日午後三時	東京發 日枝丸

2120 0026

【佐世保】(夕暮) 夕張、加賀、鬼怒、羽黒、常磐、霧島、 長良、名取、川内、青葉、衣笠、 由良、迅鯨 梨、竹、樫、柳、桃、檜、榎、皐月、 文月、菊月、望月、三日月、夕月、 疾風、追風、朝風、夕風、睦月、卯月、 如月、彌生、峯風	呂二九、呂三〇、呂三一、 呂六六、呂六七、伊六〇、伊五九、 伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、 伊六七、伊六五、伊六六 友鶴 敷島、早瀬、知床、鶴見 (若葉)	【博多】朝日 【長崎】那智、妙高 野島 (三隈)	【橘灣】龍田 水無月、長月 呂六三、呂六四、呂六八 嵯峨、球磨 【馬公】太刀風、羽風、帆風、秋風
【鎮海】蓬、蓼、蓮 旅順、藤、葛、萩、薄 青島、隱戸 上海、對馬、安宅、二見 南京、出雲、伏見 菱、董	【九江】浦風 漢口、宇治、熱海、隅田 長沙、鳥羽 宜昌、栗、柿、楡、梅 重慶、勢多 廣東、華 【羅府】佐多 【作業地】嚴島、八重山、淀、能登呂、駒橋 神風、波風、野風、沼風	【航海中】 比良 (五月二十九日上海發—漢口) 洲崎 (五月二十九日「ホノルル」發—桑港) 磐手、淺間 (五月三十一日「アレキサンドリヤ」發—「ジブチ」)	天龍 (一日青島發—旅順) 保津 (一日燕湖發—漢口) 堅田 (一日宜昌發—漢口) 室戸 (一日吳發—佐世保) 青島 (一日高雄發—佐世保)

(部内限二頁)

2122 0023

海軍公報

第二千八百八十六號

昭和九年六月四日(月)

海軍大臣官房

○令達

官房第二五九〇號

國葬參列陸海軍儀仗兵諸兵指揮官ノ幕僚タル海軍將校及國葬參列海軍儀仗隊參謀及同副官ハ國葬當日各其ノ職名ニ相當スル飾緒ヲ佩用スル義ト心得ベシ

昭和九年六月二日

海軍大臣

○辭令

海軍學生銓衡委員ヲ命ス
海軍大佐 鈴木 義尼

海軍軍醫中佐 前田 健造

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス(以上附海軍省)

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(六月一日)海軍航空本部
海軍造機大佐 朝永 研一郎

○雜款

○司令潜水艦變更
第二十九潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ伊號第六十一潜水艦ヨリ伊號第六十四潜水艦ニ變更セリ

○特務艦室戸行動豫定

地名	着	發
吳	六月十九日	六月十八日
佐世保	二十一日	二十一日
西戶崎	二十四日	二十三日
鎮海	二十七日	二十六日
佐世保	二十九日	二十九日
西戶崎	七月二日	七月二日
舞鶴	七月三日	七月五日
吳	七月七日	七月十一日

海軍公報 第二千八百八十六號 昭和九年六月四日

五五二

2123

0629

横須賀 十三日 吳 十八日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日
同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ	同 十日迄 同 十五日迄 其ノ後ハ
横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日	横須賀 十六日

2124 0000

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ノ
定ヲ要セズ

○六月四日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、八雲、北上、大鯨、木曾、伊勢、金剛、五十鈴、赤城、鳥海、摩耶、高雄、愛宕、神威

松風、春風、旗風、朝風、沖風、矢風、澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣

伊二三、伊二四、伊三、伊一、伊二、伊五、伊四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、襟裳、鳴戸

【長浦】

島風、汐風、夕風、灘風、潮、曙、朧

天霧、朝霧、夕霧

呂五五、呂五四、呂五六

掃六、掃一、掃三、掃五

【横濱】

比叡

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【四日市】

大和

【硫黄島】

膠州

【大湊】

呂五八、呂五七、呂五九

大泊

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

加古、神通、勝力、大井、白鷹、韓崎、扶桑、日向、長鯨、龍驤、古鷹、那珂

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、刈萱、朝顔、子日、初春、吳竹、若竹、早苗、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、吹雪、深雪、初雪、白雪、白雲、

叢雲▲、薄雲▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七、呂二八、呂六一、呂六〇、

呂六二、伊二一、伊二二、伊二五、伊二六、伊五一、伊五六、伊五七、伊五八、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、掃一四

石廊、攝津、間宮▲

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【舞鶴】吾妻▲、多摩

呂夕顔、葵、菊

呂二六

呂千鳥、真鶴

(夕暮)

【佐世保】夕張、加賀▲、鬼怒、羽黒、常磐、霧島、

▷長良▲名取、▷川内、▷青葉、衣笠、 ▷由良、迅鯨	梨、竹、樺、▷柳、桃、檜、櫻、皐月、 文月、▷菊月、望月、三日月、夕月、 ▷疾風▲追風▲朝風、夕風、▷睦月、卯月、 如月▲彌生▲峯風▲	呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、 呂二九、呂三〇、呂三一、▷呂六五、 呂六六、呂六七、▷伊六〇、伊五九、 伊六三、▷伊六四、伊六二、伊六一、 ▷伊六七、伊六五、伊六六	友鶴 敷島▲早鞆、鶴見 (若葉)	【西戸崎】知床 【夷灣】▷呂六三、呂六四、呂六八 【長崎】那智▲妙高▲ 野島	【馬公】球磨 (三隈) ▷太刀風、羽風、帆風▲秋風▲	【鎮海】蓼、蓮 【濟州】▷蓬 【旅順】天龍、淀 ▷藤、葛、萩、薄
------------------------------	--	---	------------------------	---	----------------------------------	---

【航海中】 洲崎 (五月二十九日「ホノルル」發—桑港へ) ▷磐手、淺間 (五月三十一日「アレキサンドリヤ」發—「ジブチ」へ)	保津 (一日蕪湖發—漢口へ) 堅田 (一日宜昌發—漢口へ) 青島 (一日高雄發—佐世保へ) 足柄 (三日門司發—大連へ) 春日 (三日德山發—大連へ) 室戸 (三日佐世保發—吳へ) 隱戸 (三日青島發—佐世保へ)	▷出雲、▷菱、董 (四日南京發—蕪湖へ) ▷龍田、▷水無月、長月 (四日橋灣發—佐世保へ) 鳳翔 (四日橫須賀發—東京灣へ) 朝日 (四日油谷灣發—吳へ)	【上海】▷對馬、安宅、二見 【南京】伏見 【漢口】浦風 宇治、熱海、隅田、比良 【長沙】鳥羽 ▷栗、柿、檜、梅 【重慶】勢多 【汕頭】嵯峨 【香港】韋 【羅府】佐多 嚴島、八重山、能登呂、駒橋 ▷神風、波風、野風、沼風
--	--	--	--

(部内限二頁、同附錄八十二頁)

2126 0032

海軍公報

第二千八百七十七號

海軍大臣官房

昭和九年六月六日(水)

○通牒

軍務第二一五八號ノ二

昭和九年六月六日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

官廳用無線電信試験ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ左記ノ通試験施行援助方依頼有之候ニ付テハ附近航海ノ艦船ハ努メテ援助ヲ與ヘラレ度追テ其ノ成績ハ當局及燈臺局ヘ通報相成度

記

燈工第一八六一號

昭和九年五月十七日

燈臺局

海軍省軍務局御中

官廳用無線電信試験ニ關スル件

當局所管北海道襟裳岬燈臺併置ノ無線方位信號所ハ實

際ノ業務開始ニ先ダチ充分試験ヲ行ヒ度趣旨ノ下ニ五月十五日ヨリ無休ニテ無線羅針業務及無線標識業務ニ準ジ試験通信ヲ致候ニ付貴局ニ於カレテモ右試験ニ際シ他ノ個所同様精々便宜ヲ與ヘラルル、様御取計相成度尙之ガ成績御通知相煩ハシ度及御依頼候追テ試験執行要項ハ別紙ノ通ニシテ標識用周波數ハ三百十「キロサイクル」(九百六十八米)標識符號ハ「MO」ヲ使用發射可致候

(別紙)

無線羅針業務試験執行要項

- 一、名稱 位置 呼出符號
- (一) 名稱 襟裳岬無線方位信號所
- (二) 位置 北緯 四一度五五分三〇秒
東經 一四三度一四分五〇秒
- (三) 呼出符號 J L M
- 二、發射電波ノ性質及發振周波數(波長)
可應持續電波 三七五「キロサイクル」(八百米)
- 三、聽守周波數(波長)

海軍公報 第二千八百八十七號 昭和九年六月六日

五五五

2127

0000

可聴電波 五〇〇「キロサイクル」(六百米)

四、装置方式 真空管式

五、空中線電力 三五〇「ワット」

六、試験執行時間 無休

七、同交信方法

無線方位測定規則ニ準ズ

即チ左ノ如シ

A、船舶無線電信ヨリ無線羅針局ニ對シ方位測定試験ヲ依頼セントスル場合ハ先ヅ五〇〇「キロサイクル」(六百米)ニテ羅針局ヲ呼出シ其ノ呼出符號ニ引續キQ T E (當船ノ眞方位如何)ヲ送ラレタシ

羅針局ハ是ニ對シ三七五「キロサイクル」(八百米)ニテ應答ス、羅針局ノ應答ヲ得バ船舶無線電信ハ直ニ三七五「キロサイクル」ニ變更シ爾後相方三七五「キロサイクル」(八百米)ニテ交信スルモノトス

B、無線羅針局ヨリ船舶無線電信ニ對シ方位測定試験對手方依頼セントスル場合ハ最初五〇〇「キロサイクル」(六百米)ニテ呼出シ爾後前項ニ倣フ

八、測定試験方法

(一)第七項ニ依リ連絡後無線羅針局ニテ測定準備完了シタル時ハ可送符號(一・一)ヲ發振スルヲ以テ船舶無線電信ニテハ三七五「キロサイクル」ノ周波數ニテ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長ク(長キ程可ナリ)シテ五十秒間反復送信セラルベシ

而シテ無線電信ニテ電波發振ヲ開始セラルハ、ニ當リテハ(無線電信係ヨリ試験ヲ始ムノ信號ヲ爲シタル時ハ直ニ船位ノ測定ヲ開始シ電波發振ヲ始メテヨリ約二十秒後ノ位置ヲ探ル樣船橋ト豫メ打合セ置キ)電鈴若ハ適宜ノ方法ニテ試験開始ノ旨船橋ヘ信號シ船橋ニテハ直ニ目測ヲ始メラルハ、ヲ最良ノ方法ト思料ス

船橋ニ於ケル船位測定ノ正否ハ本試験ノ根幹ヲナスヲ以テ事情ヲ諒セラレ可及的正確ヲ期セララル、樣依頼ス

方位測定完了セバ無線羅針局ハQ T E (貴船ノ方位ハ無線羅針局ヨリハ、ハ、ハ、ハ、度ナリ)ノ略符號ニ引續キ「〇〇〇」ヨリ「三五九」ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ表ハス同局ヨリノ眞方位及測

2128 0034

定時刻ヲ「〇〇〇一（午前〇時一分）」ヨリ「二四〇〇（午後十二時）」ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ送信ス

船舶無線電信ニテ右ヲ受信シタル時ハ是ヲ反復送信シ羅針局ニテ同反復ニ誤リナケレバ——
——・——又ハ——・——ヲ送信ス

船舶ニテ目測セシ無線羅針局ヨリノ方位ハ一回宛同局ヘ通知セラルハトモ試験終了後一括通知セラルハトモ何レニテモ差支ナシ

本試験中無線羅針局ヨリ通知スル方位ハ修正ヲ施サザル（測定機ノ示セシ儘ノ方位）モノナレバ多少誤差アルヲ免レザレバ注意アリタシ

(二) 無線羅針局ヨリ目測シ得ル範圍内ヲ航行ノ際羅針局ヨリ要求アル時ハ適當ノ間隔ヲ置キ前項ニ準ジ送信セラレタシ

羅針局ニテハ無線方位ヲ測定スルト同時ニ方位目測器ニ依リ方位ヲ目測ス此場合船舶側ニテハ方位ヲ目測スルヲ要セザルモ羅針局ハ相當ノ準備ヲ必要トスルヲ以テ目測範圍ニ入ル前ニ豫メ其ノ旨羅針局ニ通知セラレタシ

○ 辭令

第二課勤務ヲ命ス（其ノ旨海軍省人事局）
海軍大尉 永田 茂

總務部第二課勤務ヲ命ス
海軍書記 小泉 健治

在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

總務部第二課勤務ヲ命ス
同 川原 光太郎

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

(各通)
同 佐藤 孝一
同 長橋 新一
同 吉村 秀夫
同 高野 庄平

總務部第一課勤務ヲ命ス
同 平賀 定美

總務部第二課附ヲ命ス
同 前田 恵

第二部勤務ヲ命ス
海軍技手 下里 紋一郎
同 房 安定夫

第二部勤務ヲ命ス
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第二部勤務ヲ命ス 在名古屋首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	鈴木政義
第二部勤務ヲ命ス 在浦賀首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	檜和田實歲
第三部勤務ヲ命ス 在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	登幹夫
第三部勤務ヲ命ス 在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	小山隆
第四部勤務ヲ命ス 在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	鈴木義男
第四部勤務ヲ命ス 在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	中光善人
第四部勤務ヲ命ス 在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	有家信治

第五部勤務ヲ命ス 在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	永松鶴作
(各通)	同	石渡仙松
第五部勤務ヲ命ス	同	中岡増美
第五部勤務ヲ命ス	同	下里一男
第五部勤務ヲ命ス 在室蘭首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同	久保一幸
第五部勤務ヲ命ス 在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上海軍艦政本部)	同	野坂吉平

○ 雜 款

○郵便物發送先
軍艦勝利宛
六月十日迄ニ到達見込ノモノハ 大分縣臼杵
同 十二日迄ニ同 同 佐伯
同 十五日迄ニ同 愛媛縣三津濱

海軍公報 第二千八百八十七號

昭和九年六月六日

五五九

其ノ後ハ
軍艦安宅宛
自今

吳
佐世保

2131 0037

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ヲ要セズ

○六月六日午前十時調

【横須賀】日進▲、山城▲、八雲、大鯨、伊勢、口金剛、五十鈴、口赤城、口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、神威

口松風、春風、旗風、朝風、口沖風、矢風、澤風、口電、雷、響、口曉、狹霧、漣

口伊二三、伊二四、伊一、伊四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸

【長浦】口島風、汐風、夕風、灘風、口潮、曙、朧、口天霧、朝霧、夕霧

口呂五五、呂五四、呂五六、口伊三、伊二

口掃六、掃一、掃三、掃五

【横濱】比叡

【浦賀】(初霜)

【館山】椿

【大湊】口呂五八、呂五七、呂五九

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、口加古、神通、勝力、大井、白鷺、韓崎、口扶桑、日向、口長鯨、龍驤、古鷹、口那珂

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口芙蓉、刈萱、朝顔、口子日、初春、口吳竹、若竹、

早苗、口敷波、浦波、綾波、口東雲、磯波、吹雪、口深雪、初雪、白雪、口白雲、口叢雲、薄雲▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七、呂二八、口呂六一、呂六〇、呂六二、口伊二一、伊二二、口伊五二、伊五一、口伊五六、伊五七、伊五八

掃七、掃八、掃一〇、口掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮▲

(伊六八)、(最上)

【大阪】(初雁)、(掃一五)

【神戸】口伊五三、伊五四、伊五五

(伊六九)、(伊六)

【玉】(掃一六)

【舞鶴】吾妻▲、多摩

口夕顔、葵、菊

呂二六

口千鳥、真鶴

(夕暮)

【佐世保】夕張、加賀▲、鬼怒、羽黑、常磐、口龍田、霧島、口長良▲、名取、口川内、口青葉、

衣笠、口山良、迅鯨

梨、竹、梶、口柳、桃、檜、櫻、口水無月、

長月、皐月、文月、口菊月、望月、三月月、

夕月、口疾風▲、追風▲、朝風、夕風、

(部内限一頁)

海軍公報

第二千八百八十八號

昭和九年六月七日(木)

海軍大臣官房

○辭令

○昭和九年六月六日

任海軍技手
給五級俸

荒井 昌司

(各通)

陸軍工兵少尉正八位

金井 三省
佐羽内 磐夫
高橋 健次
諸富 有海

任海軍技手
給月俸七拾圓

(各通)

吉野 守正
石井 實
菊野 忠治
西田 大麓
落合 弘
藤井 純一

任海軍技手

福島 隆一

給七級俸

任海軍技手

池田 正作

給月俸六拾圓

(各通)

野中 勘六
小森 寅一

任海軍技手

給八級俸

(各通)

海軍艦政本部勤務ヲ命ス

海軍技手
荒井 昌司
金井 三省

(各通)

海軍技術研究所勤務ヲ命ス

同 佐羽内 磐夫
同 石井 實
同 高橋 健次
同 諸富 有海

海軍公報 第二千八百八十八號

昭和九年六月七日

五六三

2134

0040

(各通)		同	菊野 忠治
海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス		同	西田 大麓
同		同	藤井 純一
同		同	福島 隆一
海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス		同	吉野 守正
(各通)		同	野中 勘六
同		同	小森 寅一
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ命ス		同	落合 弘
海軍技術研究所附ヲ命ス		同	池田 正作
横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス		同	鈴江 才二
(各通)		同	栗栖 淺吉
六拾五圓 海軍特務中尉		同	佐藤 東兵衛
六拾圓 海軍特務中尉		同	吳海軍軍需部ニ於ケル兵器修理關係事務ヲ囑託シ報
酬月額(各頭書ノ通)ヲ給ス(以上海軍省)		同	軍司令部ニ於ケル事務關係編纂事務囑託ヲ解ク(六月軍令部)
海軍兵學校ニ於ケル化學實驗助手及選修學生教授ヲ囑託ス		近藤 宏	
但シ報酬月額七拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(海軍兵學校)		梅木 茂美	
海軍經理學校ニ於ケル國漢文教授ヲ囑託ス		熊谷 小三郎	
但シ報酬月額七拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(海軍經理學校)		石井 健也	
検査官附海軍書記		和田 良助	
研究部附ヲ命ス		木下 薰三郎	
検査官附ヲ命ス		富永 廣孝	
研究部附兼検査官附海軍技手		楠目 正康	
研究部附兼爆薬部附ヲ命ス		脇 董	
爆薬部附ヲ命ス			
研究部附兼火薬部附同			
火薬部附ヲ命ス			

(各通) 同 手中進 同 日比野 治		研究部附ヲ命ス 火藥部附ヲ命ス 研究部附ヲ命ス 同 林 廣 司 同 清水 達 英 同 石 田 博 爆藥部附ヲ命ス(以上諸海軍火藥廠)		○雜 款		○呂號第二十六潜水艦行動豫定 地名 着 發 新 舞 鶴 六月十四日 六月十三日 新 舞 鶴 六月十六日 六月十六日 眞 野 灣 六月十八日 六月十七日 新 舞 鶴		○特務艦知床行動豫定變更(五月九日) 地名 着 發 佐 世 保 六月三日 六月三日 西 戶 崎 六月七日 六月九日 吳 須 賀 六月十二日 六月二十一日 吳 六月二十三日 六月二十五日	
佐 世 保 二十七日		○特務艦青島行動豫定變更(五月二十二日) 地名 着 發 馬 公 五月二十九日 五月三十日 高 雄 六月三十一日 六月一日 佐 世 保 六月五日 六月七日 吳 山 六月八日 六月九日 德 山 六月十四日 六月十一日 横 須 賀 七月十四日 七月二十八日 佐 世 保 七月十四日 七月二十八日 西 戶 崎 七月十四日 七月二十八日 大 湊 七月十三日 七月十四日 横 須 賀 七月十三日 七月十四日		○郵便物發送先 呂號第二十六潜水艦宛 六月十三日迄ニ到達見込ノモノハ 同 十五日迄ニ同 其ノ後ハ 特務艦青島宛 六月九日迄ニ到達見込ノモノハ 同 十一日迄ニ同 同 二十七日迄ニ同		新 舞 鶴 新 舞 鶴 新 舞 鶴 吳 山 德 須 賀 横 須 賀		吳 山 德 須 賀 横 須 賀	

海軍公報 第二千八百八十八號 昭和九年六月七日

五六五

2136

0343

七月 一日迄ニ同
同 三日迄ニ同
同 十日迄ニ同
其ノ後ハ 横 大 西 佐
須 湊 戸 世
賀 崎 保

○郵便物發送先變更 (五月十一日
本報參照)

特務艦知床宛

六月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
同 二十 日迄ニ同 横 須 賀
同 二十四 日迄ニ同 吳
其ノ後ハ 佐 世 保

○移轉

軍事參議官海軍大將野村吉三郎ハ明八日左記ニ移轉ス

記

澁谷區南平臺町四〇 (電話青山 一二一二番)

海軍大尉正七位勳六等春木 傳、海軍航空特務少
尉正八位勳七等柴崎寅次郎昨六日館山海軍航空隊
ニ於テ飛行訓練中殉職、明八日午後一時三十分同
隊ニテ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

2137

0643

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月七日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、八雲、大鯨、北上、比叡、

木曾、伊勢、口金剛、五十鈴、赤城、

鳥海、摩耶、高雄、愛宕、神威、

松風、春風、旗風、朝風、沖風、矢風、

澤風、電、雷、響、曉、狹霧、漣

伊二三、伊二四、伊四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸

【長浦】

島風、汐風、夕風、灘風、潮、天霧、

朝霧、夕霧

呂五五、呂五四、呂五六、伊三、伊一、

伊二、伊五

掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

鳳翔

椿

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

加古、神通、大井、白鷹、扶桑、日向、

長鯨、龍驤、古鷹、那珂

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、芙蓉、

刈萱、朝顔、子日、初春、吳竹、若竹、

早苗、敷波、浦波、綾波、東雲、磯波、

吹雪、深雪、初雪、白雪、白雲、

叢雲、薄雲▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

呂二七、呂二八、伊二二、伊二二、

伊五二、伊五一、伊五六、伊五七、

伊五八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一三、

掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮、知床

【大阪】

(初雁)、(掃一五)

【神戸】

伊五三、伊五四、伊五五

【玉】

(掃一六)

【安下庄】

韓崎

【舞鶴】

呂六一、呂六〇、呂六二

【舞鶴】

吾妻▲、多摩▲

【兩津】

呂千鳥、真鶴

【佐世保】

(夕暮)

【兩津】

夕張、加賀▲、鬼怒、羽黑、常磐、

【佐世保】

霧島、長良▲、名取、川内、青葉、

【佐世保】

衣笠、山良、迅鯨

海軍公報 第二千八百八十八號 昭和九年六月七日

五六七

2138 0644

梨、竹、樞、 阜月、文月、 疾風▲ 追風▲ 如月▲ 彌生▲ 峯風▲ 呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、 呂二九、呂三〇、呂三一、呂六五、 呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、 呂六八、呂六一〇、伊五九、伊六三、 伊六四、伊六一、伊六二、伊六七、 伊六五、伊六六	友鶴	敷島▲ 早瀬、鶴見、青島	【若葉】 那智▲ 妙高▲	【野島】 球磨	【馬公】 羽風、帆風▲ 秋風▲	【基隆】 蓬、蓼	【海山】 蓬	【旅順】 天龍	【大連】 足柄	【隄城島】 薄	【上海】 對馬、二見、春日	【南京】 伏見	【九江】 浦風
--	----	--------------	-----------------	------------	--------------------	-------------	-----------	------------	------------	------------	------------------	------------	------------

漢口▲ 宇治、熱海、岡田、比良、保津	長沙▲ 鳥羽	沙市▲ 栗、榆	宜昌▲ 枳	重慶▲ 勢多	香港▲ 蟻峨	作業地▲ 嚴島、八重山、能登呂、駒橋	航海中▲ 大和、大泊	洲崎▲ 五月二十九日「ホノルル」發→桑港(へ)	磐手、淺間▲ 五月三十一日「アレキサンドリヤ」發→「ジブチ」(へ)	堅田▲ (一日)宜昌發→漢口(へ)	佐多▲ (三日)羅府發→「ホノルル」(へ)	膠州▲ (四日)硫黃島發→「クツル」(へ)	柿▲ (五日)宜昌發→上海(へ)	華▲ (五日)香港發→上海(へ)	襟裳▲ (五日)橫須賀發→大湊(へ)	出雲▲ (六日)上海發→佐世保(へ)	安宅▲ (六日)上海發→佐世保(へ)	淀▲ (六日)大連發→佐世保(へ)	水無月▲ (六日)佐世保發→那覇(へ)	曙▲ (六日)佐世保發→德山(へ)	隱戸▲ (六日)佐世保發→德山(へ)	勝力▲ (七日)吳發→豐後水道(へ)	藤、葛▲ (七日)旅順港外發→青島(へ)	萩▲ (七日)旅順港外發→威海衛(へ)	呂五八、呂五七、呂五九▲ (七日)大湊發→小樽(へ)
--------------------	--------	---------	-------	--------	--------	--------------------	------------	-------------------------	-----------------------------------	-------------------	-----------------------	-----------------------	------------------	------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	---------------------	-------------------	--------------------	--------------------	----------------------	---------------------	----------------------------

【漢口】 宇治、熱海、岡田、比良、保津	【沙市】 鳥羽	【宜昌】 棗、榆	【重慶】 勢多	【香港】 巖島、八重山、能登呂、駒橋	【作業地】 巖島、波風、野風、沼風	【航海中】 神風、大和、大泊	【洲崎】 五月二十九日「ホノルル」發 五月三十一日「アレキサンドリヤ」發	【磐手】 五月二十九日「ホノルル」發 五月三十一日「アレキサンドリヤ」發	【堅田】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【佐多】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【膠州】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【樺州】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【襟裳】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【出雲】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【安宅】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【水無月】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【隱戸】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【勝力】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【藤島】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【萩島】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」	【呂五八、呂五七、呂五九】 （一日）宜昌發「漢口」 （二日）宜昌發「上海」 （三日）宜昌發「上海」 （四日）宜昌發「上海」 （五日）宜昌發「上海」 （六日）宜昌發「上海」 （七日）宜昌發「上海」
------------------------	------------	-------------	------------	-----------------------	----------------------	-------------------	--	--	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	--

（部内限三頁）

海軍公報

第二千八百十九號

昭和九年六月八日(金)
海軍大臣官房

○辭令

○昭和九年六月八日

任海軍書記

判田 勇

給七級俸

任海軍書記

島崎 長治

給月俸六拾圓

任海軍書記

多賀 賴俊

給八級俸

任海軍技手

磯谷 延治

給四級俸

(各通)

梶原 等

福田 熊雄

滿木 源吾

小川 文之進

任海軍技手

給六級俸

(各通)

任海軍技手

給月俸七拾圓

(各通)

任海軍技手

給七級俸

任海軍技手

給月俸六拾圓

石塚 安次郎
宗近 眞澄

岡部 清

原口 秀夫

佐々木 幸正

加藤 裕

新井 甚作

山本 才二

武原 利一

服部 貫一

田中 佛

和泉 正一

海軍公報 第二千八百十九號 昭和九年六月八日

五六九

2140 0646

(各通)		大野 虎雄
任海軍技手		平本 誠一
給八級俸		
(各通)		海軍書記 判田 勇
(各通)		多賀 頼俊
廣海軍工廠勤務ヲ命ス		同
同		島崎 長治
横須賀海軍工廠附ヲ命ス		同
海軍燃料廠附ヲ命ス		磯谷 延治
同		梶原 等
同		福田 熊雄
(各通)		同
同		岡部 清
同		原口 秀夫
同		和泉 正一
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ命ス		同
同		蒲木 源吾
同		宗近 眞澄
同		佐々木 幸正
(各通)		同
同		加藤 裕
海軍艦政本部附ヲ命ス		同
同		新井 甚作
(各通)		小田 文之進
同		山本 才二
同		服部 貫一
同		田中 佛
同		大野 虎雄
同		平本 誠一
海軍艦政本部勤務ヲ命ス		同
同		石塚 安次郎
(各通)		同
同		武原 利一
舞鶴要港部勤務ヲ命ス		同
故海軍一等兵曹遠藤末吉母		遠藤 とみ
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金壹千貳百圓ヲ給與ス		同
故海軍二等機關兵曹佐藤 稔妻		佐藤 千東
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金七百圓ヲ給與ス		同
故海軍三等兵曹井口善男母		井口 クラ
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五拾圓ヲ給與ス		同
故海軍三等兵曹安井長治實父		田中 嘉藏

2141 0647

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金參百貳拾五圓ヲ給與ス

(通各) 故海軍一等水兵藤岡高男兄 藤岡寛次郎
故海軍二等水兵古屋敷定一父 古屋敷定松

同 西村嘉次母 西村とめ
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス
(以上諸海軍省)

(各通) 海軍少佐 林 榮 通
海軍大尉 永田 茂
兼務廳ニ於テ服務スヘシ(第三海軍艦政本部)

第五部勤務ヲ命ス(第四同) 海軍機關中佐 小林 義 治

技術部附ヲ命ス 海軍書記 小川 榮 夫

(各通) 海軍技手 鈴木 勝 義
同 日暮 時 郎

技術部勤務ヲ命ス(以上諸海軍航空本部)

○ 雜 款

○郵便物發送先

軍艦北上宛

六月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀
同 二十二日迄ニ 同 厚 岸
同 二十四日迄ニ 同 釧 路
其ノ後ハ 横 須 賀

○電話架設

皇族附武官兼元帥副官軍令部副官海軍大佐松永次郎宅
(灘谷區代々木富ヶ谷一四五六)
四谷 七二〇一番

退役海軍軍醫大佐從四位勳五等伴野秀堅本月四日
卒去、一昨六日靜岡市寺町感應寺ニ於テ佛式ニ依
リ葬儀執行

艦船所在

指定ヲ要セズ

○六月八日午前十時調

【横須賀】日進▲山城▲八雲、大鯨、北上、比叡、

▶木曾、伊勢、口金剛、五十鈴、▶赤城、

口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、神威、

口松風、春風、旗風、朝風、口沖風、矢風、

澤風、口電、雷、響、口曉、狹霧、漣、

口伊二三、伊二四、伊四、

掃二、掃四、

富士▲、尻矢、鳴戸、

【長浦】汐風、夕風、灘風、口潮、曙、口天霧、

朝霧、夕霧、

口呂五五、呂五四、呂五六、口伊三、伊一、

伊二、口伊五、

口掃六、掃一、掃三、掃五、

【浦賀】(初霜)

【館山】鳳翔

椿

【大湊】襟裳

【吳】長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

▶加古、神通、大井、白鷹、▶扶桑、日向、

▶長鯨、龍驤、古鷹、▶那珂、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口芙蓉、

刈萱、朝顔、口子目、初春、口吳竹、若竹、

早苗、口敷波、浦波、綾波、口東雲、磯波、

吹雪、口深雪、初雪、白雪、口白雲▲、

叢雲▲、薄雲▲、

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

呂二七、呂二八、口伊二一、伊二二、

口伊五二、伊五一、口伊五六、伊五七、

伊五八、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、

掃一四、

石廊、攝津、朝日、室戸、間宮、知床、

(伊六八)、(最上)、

【大阪】(初雁)、(掃一五)、

【神戸】口伊五三、伊五四、伊五五、

(伊六九)、(伊六)、

【玉】(掃一六)、

【徳山】隠戸

【舞鶴】吾妻▲、多摩▲、

呂二六、

口千鳥、真鶴、

【新潟】口夕顔、葵、菊、

【佐世保】夕張、加賀▲、鬼怒、羽黒、常磐、▶龍田、

霧島、▶長良▲、名取、▶川内、▶青葉、

衣笠、▶由良、迅鯨、安宅、

海軍公報 第二千八百八十九號 昭和九年六月八日

五七三

2143

0040

呂三三、	呂二四、	呂二五、	呂三一
呂二九、	呂三〇、	呂三二、	呂六五、
呂六六、	呂六七、	呂六三、	呂六四
呂六八、	呂六〇、	呂五九、	呂六三、
伊六四、	伊六一、	伊六二、	伊六七、
伊六五、	伊六六		

【長崎】那智▲妙高▲

馬公

【仁川】蓬、蓼、蓮

【大連】足柄

【威海衛】

【上海】▷對馬、二見、春日

【南京】伏見

【九江】出雲

漢口 宇治、熱海、隅田、比良、保津

沙市
宜昌
区
板栗

【重慶】
【廣東】

變多
嵯峨

【作業地】嚴島、八重山、能登呂、駒橋、淀

大和、大泊

【航海中】

堅田
左多
（二）日宜昌發——漢口（）
（三）日羅府發——（）

膠州（四日硯黃島發）
（五日宜昌發）
上海（一）

力（六日長浦發一港外へ）

榆（七日沙市發）九江（）
太刀風（七日基隆發）那霸（）

呂五八、呂五七、呂五九（七日大發發——小橋）

韓麟 呂六一 呂六〇 呂六一 八月安下月

三島風（八日長浦發—東京灣—）

(部内限三頁、同別表一葉)

海軍公報

第二千百九十號

昭和九年六月九日(土)

海軍大臣官房

○通牒

艦本第六〇七九號

昭和九年六月九日

海軍艦政本部
海軍航空本部

關係各廳御中

領收書書式ノ件通牒

本省契約物件ニ對シ請負者ニ交付スベキ領收書ハ左記書式ニ依リ調製相成度

追テ大正十二年五月三十日艦本第三七〇五號ハ自然消滅トス

領收書

、、、海軍軍需部(、、、海軍工廠)
、、、造船造兵監督長(官)(艦團部隊)

、、、會社(氏名)宛

職氏名印

海軍公報 第二千百九十號 昭和九年六月九日

契約年月日	契約番號	品名數量	契約納期	持込年月日	領收年月日	記事
						(註) 一、品名又ハ納期多數ニ亙ルモノハ別紙書式ノ内譯書ヲ添付スルコト 二、記事欄ハ減價購入ヲ要スル場合ニ限リ記入スルモノトシ、減價額及其ノ算出基礎並ニ事由ヲ記入スルコト

内譯書

五七五

2145 0051

2146 ~~0652~~

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○六月九日午前十時調

【横須賀】

日進▲、山城▲、八雲、大鯨、鳳翔、北上、比叡、木曾、伊勢、口金剛、五十鈴、赤城、口島海、摩耶、高雄、愛宕、神威、松風、春風、旗風、朝風、口沖風、矢風、澤風、口電、雷、響、口曉、狹霧、漣、伊二三、伊二四、掃二、掃四

【長浦】

富士▲、尻矢、鳴戸、汐風、夕風、灘風、曙、隴、口天霧、朝霧、夕霧、呂五五、呂五四、呂五六、口伊三、伊一、伊二、口伊五、伊四、口掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】

(初霜)

【館山】

椿

【大湊】

襟裳

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、加古、神通、大井、白鷹、口扶桑、日向、長鯨、龍驤、古鷹、口那珂、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口芙蓉、刈萱、朝顔、口子日、初春、口吳竹、若竹、

早苗、口敷波、浦波、綾波、口東雲、磯波、吹雪、口深雪、初雪、白雪、口白雲、叢雲▲、薄雲▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七、呂二八、口呂六二、呂六〇、呂六二、口伊二一、口伊二二、口伊五二、伊五一、口伊五六、伊五七、伊五八、掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、掃一四、石廊、攝津、朝日、室戸、隱戸、間宮、青島

【大阪】

(伊六八)、(最上)

【神戸】

(初雁)、(掃一五)、口伊五三、伊五四、伊五五、(伊六九)、(伊六)

【玉】

(掃一六)

【阿多島】

勝崎

【八幡濱】

勝力

【舞鶴】

吾妻▲、多摩▲、呂二六

口千鳥、真鶴

【新潟】

(夕暮) 口夕顔、葵、菊

【佐世保】

夕張、加賀▲、鬼怒、羽黒、常磐、口龍田、霧島、口長良▲、名取、口川内、口青葉、

【航海中】

堅田 佐多 膠州 榆 樺 呂五八、呂五七、呂五九 呂島風 知床 潮	(一日宜昌發—漢口) (三日羅府發—「ホノルル」) (四日硫黃島發—「クッルー」) (五日宜昌發—上海) (七日沙市發—九江) (七日基隆發—那霸) (八日長浦發—東京灣) (八日吳發—橫須賀) (九日勝浦發—橫須賀)
【航海中】	聖田 佐多 膠州 榆 樺 呂五八、呂五七、呂五九 呂島風 知床 潮
【航海中】	聖田 佐多 膠州 榆 樺 呂五八、呂五七、呂五九 呂島風 知床 潮

海軍公報

第二千百九十一號

昭和九年六月十一日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二六七二號

昭和九年六月十一日

海軍省副官

各廳長殿

師團對抗演習見學ノ件照會

海軍士官ニシテ來十月二十五日ヨリ同二十八日ニ至ル間主トシテ鳥取縣下ニ於テ施行セラルベキ首題演習見學希望ノ向有之候ハバ來八月十五日迄ニ御取纏ノ上其ノ官氏名御通知相成度

軍務一第七〇號

昭和九年六月十一日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

艦底塗料塗裝吃水線ノ變更實施ニ關スル

件申進

○辭令

六月九日達第九十九號ヲ以テ首題ノ件變更相成候處本件ハ最近入渠ノ際ヨリ實施スルモノニ付了知相成度

海軍經理學校ニ於ケル倫理教授囑託

小尾 範治

自今部内限勅任官待遇トス(海軍省)

○雜款

○司令潜水艦變更

第三十潜水隊司令ハ本十一日司令潜水艦ヲ伊號第六十七潜水艦ヨリ伊號第六十六潜水艦ニ變更セリ

海軍公報 第二千百九十一號 昭和九年六月十一日

五七九

2149

0055

○艦船所在

指▲印△ハホレ
定ヲ要セズ

○六月十一日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城▲八雲、大鯨、鳳翔、△木曾、伊勢、△金剛、五十鈴、△赤城、△鳥海、摩耶、高雄、愛宕、神威

△松風、春風、旗風、朝風、△沖風、矢風、澤風、△電、雷、響、△曉、狹霧、漣

△伊二三、伊二四

掃二、掃四

富士▲、尻矢、鳴戸、知床

【長浦】

△島風、沙風、夕風、灘風、△潮、曙、隴、△呂五五、呂五四、呂五六、△伊三、伊一、伊二、△伊五、伊四

△掃六、掃一、掃三、掃五

【浦賀】(初霜)

【館山】

【吳】

長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、韓崎、△加古、神通、大井、白鷹、△扶桑、日向、△長鯨、龍驤、古鷹

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、△芙蓉、刈萱、朝顔、△子日、初春、△吳竹、若竹、早苗、△敷波、浦波、綾波、△東雲、磯波、吹雪、△深雪、初雪、白雪、△白雲▲

濃雲▲、薄雲▲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、呂二七、呂二八、△呂六一、呂六〇、△呂六二、△伊二一、伊二三、△伊五二、伊五一、△伊五六、伊五七、伊五八、掃七、掃八、掃九、掃一〇、△掃一三、掃一四

石廊、攝津、朝日、室戸、隠戸、間宮

(伊六八)、(最上)

(伊六九)、(伊六)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

(伊六八)

疾風、追風、朝風、夕風、 如月、彌生、峯風	呂三三、呂二四、呂二五、 呂三〇、呂三二、呂六五、	呂六六、呂六七、呂六三、 呂六八、呂六〇、伊五九、	伊六四、伊六一、伊六二、 伊六五、伊六六	友鶴	敷島、早瀬、野島、鶴見	【長崎】 那智、妙高	【馬公】 球磨、帆風、秋風	【鎮南浦】 蓬、蓼、連	【大連】 足柄	【龍口】 天龍	【芝罘】 萩	【青島】 藤、葛	【上海】 對馬、二見	【南京】 伏見	【九江】 出雲	菱、董、楡
漢口、宇治、熱海、剛田、比良、保津	長沙、鳥羽	重慶、勢多	廣東、嵯峨	桑港、洲崎	【航海中】 堅田、佐多、膠州、呂五八、呂五七、呂五九、 磐手、淺間、春日、襟裳、那珂、比叡、北上、水無月、栗、浦風、革、柿、太刀風、天霧、朝霧、夕霧	嚴島、八重山、能登呂、駒橋、淀	神風、波風、野風、沼風	大和、大泊	（部内限二頁）							

2151 0057

海軍公報

第二千百九十二號

昭和九年六月十二日(火)

海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍造機大佐 朝永研一郎
在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第三部勤務ヲ命ス 海軍造兵中佐 中森 茂雄

海軍造兵少佐 古川 勇

在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 佐藤 一昌

第二部勤務ヲ命ス(以上 海軍艦政本部)

海軍技手 井上 信夫

第五部勤務ヲ命ス

在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 藤田 正久

第一部勤務ヲ命ス(以上 同)

海軍技手 荒井 昌司

(各通)

同 金井 三省

第一部勤務ヲ命ス

第一部勤務ヲ命ス

同 高橋 健次

在浦賀首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 諸富 有海

第三部勤務ヲ命ス

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 吉野 守正

第五部勤務ヲ命ス

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 菊野 忠治

第三部勤務ヲ命ス

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 西田 大麓

第一部勤務ヲ命ス

在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 藤井 純一

第一部勤務ヲ命ス

在玉首首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍公報 第二千百九十二號 昭和九年六月十二日

五八三

2152 6058

第一部勤務ヲ命ス	同 福島隆一
在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	
同 野中勘六	
第五部勤務ヲ命ス	
在玉首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	
同 小森寅一	
第五部勤務ヲ命ス	
在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上各同)	
海軍技手 梶原等	
(各通)	
同 園部清	
同 和泉正一	
第四部勤務ヲ命ス	
在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	
同 福田熊雄	
第四部勤務ヲ命ス	
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	
同 満木源吾	
同 宗近眞澄	
同 佐々木幸正	
同 加藤裕	
(各通)	

第四部附ヲ命ス	同 新井甚作
同 小出文之進	
同 山本才二	
同 服部貫一	
同 田中佛	
同 大野虎雄	
同 平本誠一	
同 原口秀夫	
第四部勤務ヲ命ス	
同	
第四部勤務ヲ命ス	
在八幡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上各同)	

○ 雜 款

○ 命名式舉行

左記ニヨリ各報國號飛行機ノ命名式ヲ舉行セラル

記

一、飛行機番號名稱其ノ他

報國號番號	名	稱	機	種	製造資金獻納者
第六十二號	不動貯金號	九二式	艦上攻撃機	株式會社不動貯金銀	
第六十四號	大學高專號	九〇式	艦上戦闘機	全國官公私立大學高等專門學校學生	
二、日時（開式時刻）					
六月十六日（土曜）（當日雨天ノ場合ハ同十七日（日曜）同二十三日（土曜）同二十四日（日曜）ノ順ニ延期）午後一時三十分					
三、場所					
逕信省東京飛行場（東京市蒲田區羽田江戶見町）（海軍省副官）					
○軍艦伊勢行動豫定					
地名		着			
横須賀		六月十六日			
吳		六月十八日			
○佛國通報艦タユール行動豫定變更（五月三十一日）（本欄参照）					
六月十二日横濱出港 十九日迄長崎在泊					
○郵便物發送先					
軍艦伊勢宛					
六月十五日迄ニ到達見込ノモノハ横須賀					
其ノ後ハ吳					

海軍豫備中尉從七位勳六等藤並惠美丸、海軍二等航空兵勳八等丹下政市、海軍二等航空兵勳八等大島辰雄本月七日大村海軍航空隊ニ於テ飛行訓練中遭難同八日殉職、昨十一日午後一時三十分同隊ニテ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

海軍豫備中尉從七位勳六等藤並惠美丸、海軍二等航空兵勳八等丹下政市、海軍二等航空兵勳八等大島辰雄本月七日大村海軍航空隊ニ於テ飛行訓練中遭難同八日殉職、昨十一日午後一時三十分同隊ニテ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○六月十二日午前十時調

【横須賀】

日進▲山城▲八雲、大鯨、鳳翔、▶本曾、北上、伊勢、口金剛、五十鈴、▶赤城、

口島海、摩耶、高雄、愛宕、神威、

口松風、春風、旗風、朝風、口沖風、矢風、

澤風、口電、雷、響、口曉、狹霧、漣、

口伊二三、伊二四、

掃二、掃四、

富士▲、尻矢、鳴戸、知床、

【長浦】

口島風、汐風、夕風、口潮、曙、朧、

口呂五五、呂五四、呂五六、口伊三、伊一、

伊二、口伊五、伊四、

口掃六、掃一、掃三、掃五、

【浦賀】

(初霜)

【館山】

口呂五八、呂五七、呂五九、

【函館】

野風、長門、榛名、陸奥、矢矧、平戸、阿武隈、

韓崎、▶加古、神通、大井、白鷹、▶扶桑、

日向、▶長鯨、龍驤、古鷹、

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口芙蓉、

刈萱、朝顔、口子日、初春、口吳竹、若竹、

早苗、口敷波、浦波、綾波、口東雲、磯波、吹雪、口深雪、初雪、白雪、口白雲、

叢雲▲、薄雲▲、

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、

呂二七、呂二八、口呂六一、呂六〇、

呂六二、口伊二二、伊二三、口伊五二、

伊五一、口伊五六、伊五七、伊五八、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、

掃一四、

石廊、攝津、朝日、室戸、隠戸、間宮、

(伊六八)、(最上)、

【大阪】

(初雁)、(掃一五)、

【神戸】

口伊五三、伊五四、伊五五、

(伊六九)、(伊六)、

【玉】

(掃一六)、

【舞鶴】

吾妻▲、多摩▲、

呂二六、

口千鳥▲、真鶴▲、

(夕暮)、

【佐世保】

加賀▲、鬼怒、羽黒、常磐、▶龍田、霧島、

▶長良、名取、▶川内、▶青葉、衣笠、

▶由良、迅鯨、安宅、

梨、竹、樞、口柳、桃、檜、樫、長月、

皐月、文月、口菊月、望月、三日月、夕月、

口疾風、追風、朝風、夕風、口睦月、卯月、

如月、彌生、峯風 ▲
 呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、
 呂二九、呂三〇、呂三二、呂六五、
 呂六六、呂六七、呂六三、呂六四、
 呂六八、呂六〇、伊五九、伊六三、
 伊六四、伊六一、伊六二、伊六六、
 伊六七、伊六五
 友鶴 ▲
 敷島 ▲ 早鞆、野島、鶴見
 (若葉)
 那智 ▲ 妙高 ▲
 (三隈)
 【長崎】
 球磨 ▲
 羽風 ▲ 帆風、秋風
 【馬公】
 蓬、蓼、蓮
 【鎮南浦】
 足柄
 【大王家島】
 天龍
 【大浦河】
 薄
 【芝罘】
 萩
 【青島】
 藤、葛
 【上海】
 二見
 【南京】
 伏見
 【九江】
 榆
 【大冶】
 菱、董

【漢口】 宇治、熱海、剛田、比良、保津、堅田
 浦風
 【宜昌】 栗、梅
 【重慶】 勢多
 【廣東】 嵯峨
 【香港】 膠州
 【桑港】 洲崎
 【作業地】 嚴島、八重山、能登呂、駒橋、淀
 神風、波風、沼風
 大和、大泊
 【航海中】
 佐多 (三日羅府發)「ホノルル」()
 磐手、淺間 (九日「デブチ」發)「コロンボ」()
 春日 (九日上海發)「馬公」()
 襟裳 (九日大湊發)「オハ」()
 那珂 (十一日吳發)「廣島灣」()
 水無月 (十一日上海發)「佐世保」()
 柿 (十一日上海發)「馬公」()
 太刀風 (十一日上海發)「馬公」()
 夕霧、朝霧、夕霧 (十一日上海發)「舞鶴」()
 夕顔、葵、菊 (十一日上海發)「東京灣」()
 瀨風 (十一日上海發)「東京灣」()
 青島 (十一日上海發)「東京灣」()
 對馬 (十二日上海發)「南京」()
 比叡 (十二日上海發)「相模灣」()
 勝力 (十二日上海發)「相模灣」()
 夕張 (十二日上海發)「佐世保」()

(部内限四頁)

2156

6662